



奥田沼のイヌスギナの群生



西浜の砂浜の植物

こうした、在来種・固有種の植物は、姿形の地味なもの、また一般的には雑草として取り扱われるものも多いですが、固有の植物が息息できるということは、以前からの良い環境が保ち続けられてきているということであり、こうした事実は、文化的景観を形作るための自然的要素として、多方面から注目されることになりました。

（表面より続く）自然的特性となっています。さらに、地域内の沼や水路等ではドクゼリやナガエミクリという、これも絶滅が心配される珍しい種類の植物が確認されています。ナガエミクリは、かつては各地の農業用水路にしばしば繁茂しましたが、近年は水路の改修やコンクリート化などによりその数は激変しており、この地域での成育の確認は貴重といえます。

海津・西浜の湿地や湖岸の 自然観察散策の会

共催：マキノ夢の森

今月の記事にもあるような、豊かな地元の自然を再発見してみませんか

日 時 6月20日（日）

時 間 1：30～4：30

場 所 奥田沼～湖岸の散策

集合場所 奥田沼（自動車の駐車可能）

案内していただける先生 野間直彦先生



ハマダイコン（砂浜の植物）

先生は、現在滋賀県立大学環境生態学科講師をされており、当地が重要文化的景観に選定された際の報告書で、自然環境の分野の調査をされた方です。

参加費無料で自由に参加できますが、資料の準備等の都合上、下記の申込用紙に記入の上FAX（27-0093）、又はお電話（27-0062）お願い致します。

自然観察散策の会に参加します（FAX27-0093）

お名前		お名前	
ご住所		ご住所	
・小学生以下 ・中学生以上		・小学生以下 ・中学生以上	